

次期「徳島教育大綱」骨子（案）

1 次期大綱の策定趣旨

- ◎ 新たに策定する「徳島教育大綱」は、基本方針や人財の具体像を示す「理念編」、10年程度先の教育の目指すべき姿を展望した「将来ビジョン編」、教育施策の重点項目を示す「行動計画編」の3層構造で構成するとともに、新たに策定する「教育振興計画」をパッケージ化
- ◎ 現大綱策定後、コロナ禍の変遷を経て、情勢が大きく変化する中、教育の果たす役割がますます重要となっているため、現大綱の基本的な理念を深化させつつ、こうした環境変化を踏まえた新たな方向性を示すもの

現大綱策定後の本県教育を取り巻く情勢変化や展望

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアのウクライナ侵攻による国際情勢の不安定化
 - ・2050年「カーボンニュートラル」、2030年「SDGs」達成、2025年「大阪・関西万博」を見据え、進展するDX・GX
 - ・「GIGAスクール構想」による1人1台端末の実現
 - ・全国モデルとなる国府支援学校の整備、全国初となる県立夜間中学校の開校
 - ・小学校35人以下学級の実現
- など

2 推進期間

令和5年度から8年度までの4年間

3 基本方針及び「人財」の具体像

基本方針

未来社会の創り手として果敢に挑戦する、夢と志あふれる「人財」の育成

「人財」の具体像

- ① 夢と希望を持って、自らの可能性を伸ばし、個性を発揮しながら、DX・GXはじめ時代を牽引する技術を駆使するなど、未来を切り拓き、「果敢に挑戦する人財」
- ② 人と人、人と地域のつながりを大切にし、他者への共感や思いやりを持って、多様な価値観を持つ人々と共に輝き、「新たな価値を共創する人財」
- ③ 郷土への愛や誇りにあふれ、グローバルな視野を持って、未来を志向し、主体的に考え、意欲的に学び続けながら、「地域のために行動する人財」

4 将来ビジョン

次の3本の柱立てにより、「10年程度先の教育の目指すべき姿」を具体的に示すもの

- I 「DX・GX」はじめ社会変革の時代を牽引する
「未来社会の創り手」を育む確かな学びが充実している
- II 「ダイバーシティ教育」のシナジー効果により、多様な価値観が尊重され、
誰もが輝く共生社会の実現に向けた学びが充実している
- III 地域や家庭で共に学び支えあう環境の中、
「徳島ならではの郷土愛」を育む学びが充実している

5 重点項目

次の6本の柱立てにより、方向性を明確化した各施策を形成

※ **太文字**：重点項目 細字：関連する施策

- I **DX・GXを先導！未来を拓く力を育む教育の推進**
 - ・ 教育DX（GIGAスクール構想、デジタルリテラシー等）
 - ・ 教育GX（エシカル消費教育、とくしまGXスクール等）
 - ・ 2025年大阪・関西万博（グローバル人財の育成、英語教育等） など
- II **志高く夢に挑戦！個々の特性を活かした確かな学びを育む教育の推進**
 - ・ 新学習指導要領の取組深化、「知・徳・体」の調和
 - ・ デュアルスクール、チェーン・パッケージスクール
 - ・ 高校の特色化・魅力化、キャリア教育、高大連携 など
- III **共生社会の実現！全ての人の可能性を引き出し、多様性を育む教育の推進**
 - ・ 特別支援教育、しらさぎ中学校での取組、ポジティブな行動支援
 - ・ 全国モデルとなる国府支援学校の整備促進
 - ・ いじめ問題、不登校への対応 など
- IV **生涯いきいき！人生100年時代のマルチステージで輝く教育の推進**
 - ・ リカレント教育（県立総合大学校「まなびーあ徳島」等）
 - ・ 子どもの貧困対策、ヤングケアラー、就学支援
 - ・ 学校施設の整備 など
- V **共に学び支える！地域・家庭・学校がつながり、協働する教育の推進**
 - ・ コミュニティ・スクール、地域学校協働活動
 - ・ 地域連携による地域の防災力向上
 - ・ 学校における「働き方改革」の更なる推進、教員の確保 など
- VI **レガシー継承！「徳島ならではの」の歴史・文化・スポーツが躍動する教育の推進**
 - ・ 競技力向上、部活動の地域移行、生涯スポーツ
 - ・ 「あわ文化」の創造・発信
 - ・ 郷土を愛する心の醸成、史跡・文化財の利活用 など